

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社フェローテック（証券コード:6890）

【変更】

長期発行体格付	BBB+	→	A-
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的

■格付事由

- (1) 磁性流体とサーモモジュール（冷熱素子）の2つの技術を核に、半導体等装置関連、電子デバイス、車載関連などの事業を展開。半導体等装置関連では、半導体製造装置向けの治具・消耗材であるマテリアル製品や半導体製造装置などの機能部品である真空シールなどを手掛ける。電子デバイスの主力製品であるサーモモジュールでは近年、AIデータセンター内で使用される光トランシーバー向けの売上構成比が高まっている。車載関連では電子デバイスと同様にパワー半導体用基板などを手掛ける。
- (2) 業績は反転し、拡大の方向にある。旺盛な AI サーバー需要などを背景に、半導体メーカーなどの工場稼働率が高まり、設備投資も活発になっている。これらを受けて、半導体マテリアル製品や真空シールの需要も増加している。また、AI サーバーに使用される光トランシーバー向けサーモモジュールの需要も増加している。こうしたトレンドは当面継続するとみられる。財務面では、自己資本の積み増しが継続しており、積極的な設備投資を実施する中でも、一定の健全性を保っている。以上より、格付を1ノッチ引き上げ、見通しを安定的とした。
- (3) 26/3期営業利益は275億円（前期比14.4%増）と3期ぶりに増益へ転じた。車載関連は自動車EV化の減速による影響を受け減益となったものの、半導体等装置関連と電子デバイスが増益となった。26/12期（決算期変更）の営業利益は600億円の計画である。当社の連結子会社は12月決算であり、決算期変更による業績への影響は限定的としている。半導体等装置関連の主要製品やサーモモジュールが業績を引き続きけん引するとみられる。
- (4) 26/3期末の自己資本は2,588億円（前期末2,368億円）に拡充された一方、自己資本比率は37.6%（同39.4%）となった。積極的な設備投資や運転資金の増加により、総資産、有利子負債が増加した。一方、26/12期末は、すでに実現したCBの株式転換（約250億円）や期間利益の創出が、自己資本の拡充や自己資本比率の向上につながる見込みである。旺盛な需要に対応すべく、26/12期～28/12期の3年間で1,600億円の設備投資が計画されており、投資負担は引き続き重くなるとみられる。ただ、子会社株式などの資産売却を500億円以上の規模で実施する方針が示されており、一定の財務健全性は保持される見通しである。

（担当）本西 明久・関口 博昭

■格付対象

発行体：株式会社フェローテック

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年7月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「電機」（2024年2月8日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社フェローテック
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル